

地域連携センター ニュースレター

本学と都筑区役所による「第 14 回 地域連携調査研究発表会」を開催しました（2/24）

2017 年 2 月 24 日（金）、本学横浜キャンパスにおいて、「第 14 回地域連携調査研究発表会」を開催しました。本発表会は、本学の環境学部・メディア情報学部と都筑区役所の協働により、学生の調査・研究活動の中で、地域をテーマにしたもの、地域に関連が深いテーマをピックアップして、行政や地域の方々に向けて発表し、交流・意見交換の場として、平成 15 年から継続して開催しています。

当日は、18 歳からの投票権年齢の対象者となる当事者として研究に取り組んだ「若年層の投票参加に向けたアプローチ」というテーマで、初めて学部 1 年生が発表を行いました。また、学部生・大学院生による「歩行者自転車専用空間における滞留行動の多様化に関する研究」と題したテーマなど、地域に根ざした 8 つの研究発表が行われ、それぞれの発表に対し、会場からは熱心な質問が寄せられました。第 2 部の交流会では、気軽に話し合える場として今回より地域の方々にも参加いただき、活発な意見交換となりました。



学生による発表の様子



質疑応答の様子



第 2 部交流会の様子

第 33 回全国都市緑化よこはまフェアに、環境学部環境創生学科・横田研究室が出展中！！

2017 年 3 月 25 日（土）から、横浜市内中心部（山下公園など横浜を代表する人気スポットを中心に）で開催されている「第 33 回全国都市緑化よこはまフェア※」に、環境学部環境創生学科・横田研究室（指導教員：横田樹広准教授）が施工した庭園が出展されています。この庭園の「ゾーニング」「区画素材」「植栽部」「植栽植物」など全ての設計・施工から会期中の維持管理まで、同研究室の学生らが中心となって管理を行っています。

お時間がある方は、ぜひお越し下さい！！

※本フェアは、国民ひとり一人が緑の大切さを認識するとともに、緑を守り、愉しめる知識を深め、緑がもたらす快適で豊かな暮らしがある街づくりを進めるための普及啓発事業として、1983 年から毎年、全国各地で開催されている花と緑の祭典です。33 回目にして、横浜市で開かれるのは初めてとなります。



来場者約 500 万人が見込まれている本フェア



学生責任者の佐竹夏実さん（左）と横田准教授（右）

「地域連携センター ニュースレター」へのご要望、情報提供、お問い合わせは下記まで。
■□■ 問い合わせ先 ■□■
東京都市大学 研究推進部地域連携センター
〒158-8557
東京都世田谷区玉堤1-28-1
TEL: 03-5707-0104 (内: 2223・2224)
FAX: 03-5707-2128

※研究発表などを行う際は、ぜひ
夢キャンパスをご利用下さい。

